

みさとの子

学校目標【ふれあい チャレンジ きらりかがやく 三里の子の育成】

～ すべては子どもたちの笑顔のために ～

令和6年 入学式

今年度は10名の新1年生が入学してきました。これで、全校児童68名となりました。元気いっぱい登校してきました。交通指導員の皆様、婦人会の皆様、地域の皆様、登下校の見守りありがとうございます。4月12日(金)には新1年生が入学し、今年度は児童68名でスタートします。

令和6年度も「きらりかがやく三里の子」をどうぞよろしくお願いたします。



交通指導員の國信幸一様から黄色い帽子をかぶせていただきました



児童代表のこぼ
6年生代表 高木さん



式が終わり、元気に退場しています



※久蘇、峰、山崎、門前、西川、大江、坂井地区から登校してきます。近くを通学している時には子どもたちを見守っていただきますようお願いいたします。

★HP 掲載用は、個人情報保護のために画像処理をおこなっております。

校歌の石碑

北東の門の近くに、平成4年3月に北川登様から寄贈された校歌の石碑があります。文字が消えかかって見にくくなってきていたところ、北川登様のご厚意で文字の部分が塗り直され、とてもきれいになりましたので、ご紹介いたします。

地域の方々の学校への思い入れを改めて感じたところでした。ありがとうございました。



自分が卒業した学校、子どもや孫、親戚がお世話になった学校等関わり方は様々だとは思いますが、学校への思い入れは皆、深いものをもっていらっしやることと思います。

次郎物語

先日、次郎物語のDVD(1987年)を見てみました。次郎物語のふるさとは千代田町ですが、三里小の旧校舎が撮影に使われているとお聞きしておりましたので、物語の内容もさることながら、その場面を見逃さないように集中しておりました。映像の中には、南の門柱(正門)や温かみのある木造校舎や井戸が出てきて、校舎に掲示してある地図や写真を見ながら、この部分に当たるんだろなと思い描いていました。エキストラで出演された方もいらっしやったのではないのでしょうか。

論語「温故知新」(古きを温ねて新しきを知らば、以て師となすべき)

⇒「先人の学問、過去の事柄を研究し、現実にふさわしい意義が発見できるようであれば、人の師となることができるだろう。」

令和6年度小城市教職員辞令交付式の中で江里口市長さんは、「不易と流行」の話をされました。「変わらないもの、新しくすべきこと、それぞれ大切にしていきたい。」

今までの良いところは大切にしていき、時代の即したあたらしい知識や技能も身につけていき、先見の明がある人材を育てていきたいと思います。また、今後も、三里地域に愛される学校としてあり続けたいと思っています。